

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	異文化コミュニケーション I		（ TGB129 ）
講義名（コード）	TGB_異文化コミュニケーション I_B		（ TGB129B ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	渋谷 里美	時間数	30
成績評価教員	渋谷 里美	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力、人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で学生が異なる文化背景を持つ他者への理解力を高めるために、現代の社会課題に対して多様な視点から考えられるようになる。
全体の内容と概要	就職活動（面接、履歴書作成、エントリーシート作成）や社会人として必要な表現力を身につける。テーマに関する語彙を理解し、就活やビジネスで使用する漢字が書けるようになる。聞き取りやすいプロソディーを身につける。
授業時間外の学修	授業で学んだ語彙、漢字を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	配布したプリントはファイルしておくこと。 自身の考えを他者に伝え、聞くために積極的に授業に参加する姿勢が必要である。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	日本の就活について理解できる	ガイダンス（年間授業スケジュール） 目標設定
2	自己分析① 自身を分析し経歴を簡潔に述べることができる	自分の経歴をまとめる 『漢字マスター』プリントテスト1、就活語彙1
3	自己分析② 就活面接で自己紹介ができる	自分の経歴をまとめる→自己紹介 『漢字マスター』プリントテスト2、就活語彙2
4	自己分析③ 仕事について考える	自分がやりたい仕事について考える ①自分の強み ②長所・短所 ③自分の志向を知る ④やりたい仕事、『漢字マスター』プリントテスト3、就活語彙3
5	自己分析④ ESや面接で自分を上手にアピールできる	自分をアピールする、「これまで頑張ってきたこと（仮題）」作文、『漢字マスター』 プリントテスト4、就活語彙4
6	仕事① 自分が目指す業界・業種・職種について述べるができる。	業界・業種・職種 業界・企業研究の方法、『漢字マスター』プリントテスト5、就活語彙5
7	仕事② 求人情報を収集する方法を学ぶ	求人情報を収集する 『漢字マスター』プリントテスト6、就活語彙6
8	仕事③ 求人情報を読み、自分の希望に合うか判断できる	求人情報 『漢字マスター』プリントテスト7、就活語彙7
9	自己PR① 自己PRを考えられる	自己PRをグループで考える 『漢字マスター』プリントテスト8、就活語彙8
10	自己PR② 自己PRを書ける・述べられる	自己PRを書いて発表する 『漢字マスター』プリントテスト9、就活語彙9
11	志望動機① 志望動機を考えられる	志望動機をグループで考える 『漢字マスター』プリントテスト10、就活語彙10
12	志望動機② 志望動機を書ける・述べられる	志望動機を書いて発表する
13	履歴書やESに必要な情報をまとめることができる	前期の内容を「自分カード」にまとめる
14	期末試験	
15	期末試験解説	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	『学生手帳』 『漢字マスターN2』（テストプリント）
備考	